

2015年7月15日

報道関係各位

日本原燃株式会社
原燃輸送株式会社

返還ガラス固化体の輸送に係る車両運搬確認証の受領について

日本原燃株式会社および原燃輸送株式会社は、海外からの第17回返還ガラス固化体の輸送にあたり、発送前に輸送物の安全性に関する確認を受けるため、原子力規制委員会に対し、車両運搬確認申請（2015年6月12日付け）を行っていましたが、本日、車両運搬確認証を受領しましたので、お知らせいたします。

この確認証を受けるにあたり、英国にて輸送物(全5基)の発送前検査を実施し、すべて良好な結果が得られております。輸送物の主な測定結果につきましては、別紙のとおりです。

以 上

【お問い合わせ先】

日本原燃株式会社 報道部 東京報道グループ

扱者 蛸沢・寺澤 Tel. 03-6371-5802

原燃輸送株式会社 企画部

扱者 中川・益田 Tel. 03-3438-3242

(別紙)

返還ガラス固化体の輸送容器の主な測定結果について (全 5 基)

(英国 Sellafield 再処理工場における測定結果の最大値)

項 目		合 格 基 準	結 果				
			1 基目	2 基目	3 基目	4 基目	5 基目
			S3B130* ¹ 20 体用	S4B130* ¹ 20 体用	S11B130* ¹ 28 体用	S7B130* ¹ 28 体用	S8B130* ¹ 28 体用
放射 性物質 の表面 密度	α線を放出する 放射性物質	0.4Bq/cm ² を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
	α線を放出しない 放射性物質	4.0Bq/cm ² を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
線量 当量率	輸送容器表面	2mSv/h を 超えないこと	0.2204 mSv/h	0.4210 mSv/h	0.5425 mSv/h	0.1750 mSv/h	0.4464 mSv/h
	輸送容器表面から 1m離れた位置	0.1mSv/h を 超えないこと	0.0185 mSv/h	0.0390 mSv/h	0.0568 mSv/h	0.0560 mSv/h	0.0597 mSv/h
温度測定 (補正された表面温度)* ²		85℃を 超えないこと	46.2℃	46.4℃	53.3℃	51.0℃	52.0℃
気密漏えい (容器本体と蓋部及び オリフィス部の密封部)		1.33×10 ⁻³ MPa・cm ³ /s を超えないこと	4.70×10 ⁻⁵ MPa・cm ³ /s	1.11×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	3.30×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	2.91×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	3.95×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s
圧力測定		初期充填圧力が 設定値以下であ ること	44.547kPa (設定値以下)	44.719kPa (設定値以下)	19.499kPa (設定値以下)	19.641kPa (設定値以下)	19.788kPa (設定値以下)

注) * 1 : 承認容器登録番号

* 2 : 周囲温度 38℃条件下における表面温度となるように次式で補正した温度

$$(\text{補正温度}) = (\text{測定温度}) - (\text{周囲温度}) + 38^\circ\text{C}$$

N. D. : 検出限界未満を示す。

$$\left[\begin{array}{l} \alpha \text{線を放出する放射性物質の検出限界} : 0.01\text{Bq/cm}^2 \\ \alpha \text{線を放出しない放射性物質の検出限界} : 0.05\text{Bq/cm}^2 \end{array} \right]$$

Bq : ベクレル 放射性物質が放射線を出す能力 (放射性物質の量) を表す単位
(1 秒間に原子核が壊変する数)

Sv : シーベルト 人間が放射線から受ける影響の度合いを表す単位